

希望ヶ丘

先人たちが切り開いた丘の上に立つ学校



04

千歳高校定時制

学校だより

発行：将来構想委員会編集部

2026.3.24（火）

今年度を振り返って

文責 教頭 藤井 守

未来を思い描く一歩を 踏み出した令和7年度！

令和7年度を振り返ると、本校における探究的な学びは、生徒一人ひとりの自己肯定感や自己理解を着実に深める大きな機会となり、将来の進路を主体的に思い描くことにつながった一年であったと感じています。地域の企業説明や体験活動、施設訪問や多様な社会人との交流など、教室の外に出て実社会に触れる経験は、皆さんにとって新鮮な刺激となり、自らの興味や関心、得意なこと、課題としていることに気付く契機となったのではないのでしょうか。特に、実際に働く人の姿や社会の仕組みに触れたことで、「自分にもできることがある」「社会の中で役割を果たしたい」という前向きな意識が芽生え、学習への意欲の向上にもつなげることができた1年だったように思います。

また、自ら調べ、考え、まとめ、発表する過程を重ねたことは、自己表現力や思考力の育成にも寄与しました。自分の考えを言葉にし、他者と共有する経験は、達成感や自信をもたらし、自己肯定感を高める重要な要素となったのではないのでしょうか。生徒皆さんが安心して挑戦できる雰囲気の中で、小さな成功体験を積み重ねることができたことは、自己理解の深化と将来展望の形成に大きく影響を与えたことと感じております。

さらに、校外活動をきっかけに「働くこと」や「社会に参加すること」への具体的なイメージを持てるようになった生徒も多く見られました。これまで進路に対して漠然とした不安を抱えていた生徒が、自分なりの目標を見だし、進路選択に向けて行動を起こす姿が見られたことは、大きな成長であったと言えます。探究的な学びを通して得た経験は、単なる知識の習得にとどまらず、生徒の内面に働きかけ、自分自身の可能性を前向きに捉える力を育てることができたのではないのでしょうか。

今後も、校外での体験と校内での学びを有機的に結び付けながら、生徒が自らの将来を主体的に切り拓いていく力を育成していくことが重要であると考えます。令和7年度は、生徒が自分自身と向き合い、未来を思い描く第一歩を踏み出すことができた、意義深い一年とすることができました。

<人とのつながりを育てる一歩>

社会の中で生きていく上で、対人関係を築く力やコミュニケーションの力はとても大切です。しかし、それは特別な才能ではなく、小さな経験の積み重ねによって少しずつ身に付いていくものです。挨拶をする、自分の気持ちを一言伝える、相手の話を最後まで聞く。そうした一歩が、人との信頼関係をつくります。うまくできないと感じることがあっても大丈夫です。失敗も学びの一部です。**大切なのは、「関わってみよう」とする気持ち**です。学校は**安心して練習できる場所**です。自分のペースで、人と関わる経験を重ねていきましょう。その積み重ねが、これからの社会生活を支える力になります。

「人は人によって人になる」——これは、詩人の相田みつをさんの言葉です。人は周りの人との関わりの中で、少しずつ成長していくことを伝えている言葉です。学校は安心して練習できる場所です。自分のペースで一歩ずつ進んでいきましょう。

「準備がすべて。」——これは、元プロ野球選手のイチローさんの言葉です。見えない所での小さな積み重ねの大切さを伝えています。学校生活も同じです。毎日の小さな積み重ねが自分を成長させてくれます。直ぐに変わることは難しくても続けることで少しずつ自信が生まれます。

～小さな積み重ねを振り返る～

最高の思い出

【鶴翼祭】



千歳音頭



生活体験発表権発表大会



キャリアガイダンス



～全ての活動が未来につながっています～

夢溢れる空間
エスコンフィールド！



3年見学旅行



国際交流体験



<4月の行事予定>

- 8日(水) 入学式・新入生クラス開き
- 9日(木) 着任式 始業式
- 10日(金) 新入生オリエンテーション 対面式
- 16日(木) 個人写真撮影
- 17日(金) 内科検診
- 24日(金) 身体測定

よりよい年度末年度始休業に！
春休み明けの登校は4月9日(木)です！